二〇一九年度

大阪府公立高校入試問題（B問題）

五〇分
九〇点

（注）答えの字数が指定されている問題は、句読点や「　」などの符号も一字に数えなさい。

一

次の問いに答えなさい。

1　次の(1)～(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(5)～(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書（かいしょ）で、**大きくていねいに書くこと。**

(1)　長い歴史を誇る都市。　［　　］る

(2)　新しい分野への進出を企てる。　［　　］てる

(3)　洋書を翻訳する。　［　　］

(4)　議論が紛糾して会議が長引く。　［　　］

(5)　川のミナモトを探して歩く。　［　　］

(6)　ソナえあればうれいなし。　［　　］え

(7) 人のオウライが絶えない。

(8) 彼のセンモン分野はイギリス文学だ。

2 次の文の［　］に入れるのに最も適していることばを、あとのア～エから一つ選び、記号を○で囲みなさい。

友人が転校するという、藪(やぶ)から［　］の話に驚いた。

ア 声　イ 蛇　ウ 棒　エ 水

3 次の文の［　］に入れる敬語表現として**誤っているもの**を、あとのア～エから一つ選び、記号を○で囲みなさい。

先生もこのお店をよく［　］のですか。

ア ご利用する　イ ご利用になる　ウ 利用なさる　エ 利用される

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

われわれの地球は、生命を育む惑星です。

では、生命とは何でしょうか。じつは①「生命とは何か」、この問いこそ、自然の解読が急速に進んだ二十世紀末でも、まだわからない問いとして残っている問題です。

「宇宙とは何か」「地球とは何か」という問いは、ある程度答えが得られたといってもいいのですが、「生命とは何か」だけは答えられません。

その理由は簡単です。われわれの知っている生物学というのは、地球生物学だからです。

もし宇宙に生命があまねく存在するとして、その地球外生命を一つでも知るようになったら、「生命とは何ぞや」という知識は格段に広がります。しかし今われわれが知っている生命とは、地球の上の生命ただ一種類だけなのです。

一つしか知らない、そのものの特徴をいくら調べても、それと同様のものが宇宙にも存在するという保証にはなりません。ようするに局所的な、非常に特殊な環境下で生まれたかもしれない生命しか知らないわれわれが、「生命とは何か」などという普遍的な問いにはまだ答えられないのです。

今われわれが問うているのは、正しくは「地球の生命とは何なのか」という問題です。

しかもここで地球の生命という場合も、われわれが知っているような環境――つまり年平均気温摂氏一五℃、地表気圧一気圧付近――そういう環境にいる生命について「生命とは何か」と問われるならば、答えられるということです。われわれのよく知っている地球生命について問われれば答えられますが、②な意味で「生命とは何ですか」と問われても、今は答えようがないのです。

この「問いの立て方」というのは重要です。理数系の問題でも、人生の問題でもいいのですが、みなさんが、ある問題が解けないとか、どうしたらいいのかわからないという場合、多くは問題そのものが正しく設定されていないから解けないことが多いのです。

問いは具体的である必要があります。「地球上の生命とは何か?」「日本列島にいる生物って何なの?」というように、問う範囲をどんどん狭くしていけば、その問うている生命というものが具体的になるでしょう。具体的になれば、考えられるし、答えも得られるのです。

「生命とは何か」というような抽象的な問いの場合、もっと生命というものについての普遍的なデータがあって、そこから本質的な特徴を抽出して「生命とはこのようなものですよ」ということについて何か言える段階になっていなければ、考えることすらできません。

物理学であれば、古典力学とか電磁気学、熱力学、統計物理学、流体力学、弾性体力学、あるいは相対性理論とか量子力学とか、それらを用いてこの宇宙に生起する様々な現象を説明でき、あるいは予測することができます。いくつかの基本的な法則とか定数に基づいて、すべてというわけではありませんが、この宇宙を記述することができます。

これはなぜかというと、この宇宙で物理学が成立するのがわかっているからです。生命についてはまだそういう段階ではないのです。ですから、問いそのものを、答えがあるような問い、あるいはきちんと意味のある問いにしていかなければ答えられないのです。ほとんどの人はそこをきちんと認識していませんから、答えられないような問題を堂々巡りで考えることになってしまうのです。

（松井孝典「われわれはどこへ行くのか？」より）

1　①「生命とは何か」とあるが、本文中で筆者は、「生命とは何か」という普遍的な問いに対して、われわれがどれだけ生命の特徴を調べても答えられないのはなぜだと述べているか。その内容についてまとめた次の文の［　］に入る内容を、本文中で述べられている生命についてのわれわれの知識がどのようなものなのかということにもふれて、**四十五字以上、五十五字以内**で書きなさい。

われわれがどれだけ生命の特徴を調べても、［　］ということが裏付けられるわけではないから。

2 次のうち、本文中の [②] に入れるのに最も適していることばはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 相対的　イ 限定的　ウ 能動的　エ 一般的

ア	イ	ウ	エ

3 「問いの立て方」について、本文中で筆者が述べている内容を次のようにまとめた。[a]、[b] に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、[a] は**十八字**、[b] は**十四字**で抜き出し、それぞれ**初めの五字**を書きなさい。

問題を解き明かすことができないのは、ほとんどの場合、[a] からであり、問いを立てるときには、[b] ような具体的な問いを立てなければならない。

a				
b				

三　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ある人白楽天(はくらくてん)の三儀とて語りしは

一日ノ①計(はかりごと)ハ在リ二鶏(けい)鳴(めい)一ニ　鶏鳴ニ②不(ざ)レバ起キ　日課空(むな)シ

［　③　］　朔(さく)日(じつ)ニ不レバ立テ　一月空シ

一年ノ計ハ在リ二陽春一ニ　陽春ニ不レバ耕サ　秋実空シ

といへる語、まことにただ人は心に油断おこるにより、よろづにくゆることもわざわひもおこるとかや。

（注）白楽天＝中国唐(とう)代の詩人。
三儀＝ここでは、日常生活の三つの規範のこと。
鶏鳴＝一番どりの鳴くころ。
朔日＝各月の最初の日。ついたち。
陽春＝暖かな春の季節。陽気に満ちた春。

1　①計とあるが、次のうち、このことばの本文中での意味として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア　計画　イ　計量　ウ　合計　エ　余計

ア	イ	ウ	エ

2 ②不ざレバ起キを書き下し文になおし、送りがなも含めてすべてひらがなで書きなさい。

3 本文中の ③ に入れるのに最も適している漢文を、漢字六字で書きなさい。ただし、送りがな・返り点は書かないこと。

4 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 先のことばかり心配していると、目の前にある絶好の機会を逃してしまうため、うまく仕事がすすまないということである。
イ ものごとは最初が肝心であり、気をゆるめて最初に心を配らなければ、後悔したり、災難にあったりするということである。
ウ 最初だけが重要であると考えて後のことを考えずに油断をしていると、災難のときにうまく対応ができないということである。
エ 何事も終わり方が大切なのであり、終わったからといって油断していると、次に生かせず様々なことに後悔するということである。

ア　イ　ウ　エ

四　次の文章は、高校生のはづき、留学生のペトリ、言語について研究をしている先生の三人の会話の一部を記したものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

先　生　「1万円からお預かりします」って言うけど、なんで「を」じゃなくて「から」なんだろう。

はづき　例えば、代金が7千円で客が1万円を出したとしたら、店が受け取るのは1万円じゃなくて7千円だけなんですよ、ということを表すために「から」を使うんじゃないですか。「1万円から代金の7千円を」を省略した形なんじゃないかと思います。

先　生　でも1万円札をいったん受け取っていることは確かなんだから、「から」じゃなくて「を」が正しいんじゃないかな。それに、「1万円から代金の7千円をお預かりします」の省略だとしたら、「代金の7千円」は預かっているだけということになって、後で返さないといけないよね。

ペトリ　ファーストフードの店で飲み物を注文しないと、「ドリンクの方はよろしかったですか」って訊(き)かれますけど、この「よろしかった」も考えてみれば変ですよね。過去形にすると丁寧な言い方になるんでしょうか。

先　生　注文を確認するときも、「ご注文の品は以上でよろしかったでしょうか」なんて言う。注文を受けたあと、しばらくたってから注文を確かめようとして言うのならわかるけど、今注文したばかりなのにどうして過去形になるんだろう。食べ終わった皿を下げるときも、「お皿をお下げしてもよろしかったでしょうか」って言うよね。

はづき　やっぱり「よろしいでしょうか」だと、なんとなく直接的すぎる感じがしちゃうんです。

Ⅰ

先　生　確かに「よろしいでしょうか」だと現在形だから、直接相手にいいか悪いかを尋ねることになって、訊く側は心理的な負担を感じるのかもしれない。でも逆に訊かれる側にとっては、「ご注文の品は以上でよろしかったでしょうか」と訊かれると、「考え直した方がいいよ」と言われている気分になるし、「お皿をお下げしてもよろしかったでしょうか」だと、「初めから下げるつもりなのに訊くなよ」と反発したくなってしまう。

ペトリ　つまり、こうした表現は、一見丁寧そうに見えて実は丁寧な言い方になってないってことですか。

先　生　丁寧にしたいという意図はわかるんだけど、残念ながら、結果はそうなっていない。曖昧にしたり、直接尋ねたりしないことで

丁寧な言い方になると思っている向きもあるようだけど、むしろ自分勝手な表現になってしまっているんじゃないかな。

はづき　でも、方言では丁寧な言い方をするときに過去形を使うことがあるって話を聞いたことがあります。例えば、電話に出て名乗るとき、「〇〇でした」って言うとか、「こんばんは」の意味で「おばんです」の代わりに「おばんでした」と言うとか。「よろしかったですか」も、地域によっては世代を問わず普通に使われてるそうです。

先　生　「よろしかったですか」みたいな表現は、もともとどこかの方言で、それが広まったものだと言うんだね。確かに、「よろしかったですか」も、地域によってよく使うところとそうでないところがある。東京では若い世代を除くとそれほど一般的じゃないようだけど、北海道や東北、それに名古屋(なごや)あたりではよく使うらしい。

はづき　「よろしかったですか」にあまり抵抗がないのは、名古屋出身だからかもしれませんが、もともと方言にある表現なら、自分勝手な表現とは言えないんじゃないでしょうか。

ペトリ　その前に、そもそも過去形を使うと、本当に丁寧な言い方になるんですか。

先　生　[　①　]

ペトリ　「きつねうどんになります」はどこが問題なんですか。

先　生　きつねうどんは元からきつねうどんで、きつねうどんに「なる」わけじゃないから、「きつねうどんです」でいいはずだよね。

ペトリ　もしかして、「お客さんのためにきつねうどんを作りました」という意味を「なる」に込めてるんじゃないでしょうか。

先　生　そうかもしれないけど、だからといって違和感が消えるわけじゃない。丁寧な表現をしようという意欲は買うけど、違和感をもたれる表現じゃ、結局意図が伝わらないんじゃないかな。

はづき　でも、丁寧な表現って難しくて、とっさにはなかなか出てきません。敬語を使おうとすると、「お出(い)でになられた」とか「おっしゃられた」とか丁寧すぎる表現になってしまったり、逆にタメ口をきいてしまったり、ちょうどいい表現って、なかなか思い浮かばないんです。マニュアル化した、ちょっと違和感のある表現でも、なれなれしく聞こえるよりはましなんじゃないでしょうか。

先　生　でもねえ、適切な表現を自ら考える努力も必要だと思うよ。

（佐久間淳一「はじめてみよう　言語学」より）

（注）　タメ口＝相手と対等の立場でものを言うこと。その言い方。

1　次のうち、本文中のⅠで示した先生の発言についての説明として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア　自分の経験と一般論とを比較した具体例を複数挙げ、根拠を補足しながら自分の意見を展開している。
イ　相手の意見について補足をしながら一度その意見を聞き入れ、その後に別の立場からの意見を述べている。
ウ　相手の意見の矛盾点を相手自身に気付かせ改めさせることで、自分の意見が妥当であることを示している。
エ　対比された二つの意見の共通点と相違点を明らかにし、自分と異なる意見が出る理由について言及している。

ア　イ　ウ　エ

2　次の(ⅰ)～(ⅲ)は、本文中の ① に入る。 ① の前後の内容から判断して(ⅰ)～(ⅲ)を並べかえると、どのような順序になるか。最も適しているものをあとから一つ選び、記号を○で囲みなさい。

(ⅰ)　大体、こうした言い方がマニュアル化してしまっていることが問題で、他にも、「こちらきつねうどんになります」みたいな変な表現が多い。
(ⅱ)　ただ、たとえそうだとしても、過去形が丁寧を表すという確固たる理由はないわけだから、「よろしかったでしょうか」でいいことにはならないんじゃないかな。
(ⅲ)　「〇〇です」に比べて、「〇〇でした」と言うと、会話のやり取りの場面から一歩退いたような感じがするので、それが丁寧表現として受け取られている理由なんだろうね。

ア　(ⅰ)→(ⅱ)→(ⅲ)
イ　(ⅰ)→(ⅲ)→(ⅱ)
ウ　(ⅱ)→(ⅰ)→(ⅲ)
エ　(ⅱ)→(ⅲ)→(ⅰ)
オ　(ⅲ)→(ⅰ)→(ⅱ)
カ　(ⅲ)→(ⅱ)→(ⅰ)

ア　イ　ウ　エ　オ　カ

3　本文中で述べられている先生とはづきの議論の内容を次のようにまとめた。

【議論の内容のまとめ】

○　「よろしかったでしょうか」という表現について、先生とはづきとの議論の論点は、［a］のかどうかという点にある。
○　敬語の使い方について、はづきが言うように、適切な敬語表現がとっさに思い浮かばずに［b］方がよいのではないかという意見もある。その一方で、先生が言うように、敬意を正しく伝えるためにも不自然な表現をむやみに使うのではなくて、［c］なのではないかという意見もある。

(1)　【議論の内容のまとめ】中の［a］に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から**十六字**で抜き出し、**初めの五字**を書きなさい。

(2)　【議論の内容のまとめ】中の［b］に入る内容を、本文中のことばを使って**四十五字以上、五十五字以内**で書きなさい。また、［c］に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から**十六字**で抜き出し、**初めの五字**を書きなさい。

b

c

五

二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、外国人観光客のさらなる増加が見込まれています。そこで、ピクトグラムを利用した案内用図記号の充実が図られています。ピクトグラムを利用した案内用図記号の活用について、あなたはどのような点に注意すべきだと考えますか。あなたの考えをあとの原稿用紙に**二百六十字以内**で書きなさい。ただし、次の条件にしたがって書くこと。

トイレのピクトグラム

（注）ピクトグラム＝意味するものの形状を使って、その意味概念を理解させる視覚記号。

条件　次の資料から読み取れる、ピクトグラムの課題や問題点についてもふれて書くこと。

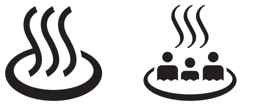
※　資料の数字や記号を使う場合は、次のように書いてもよい。

（例）　52・1%　JIS

資料（アンケート調査の結果）

分かりやすいのはどちらか

温泉マーク



JIS（国内規格）　ISO（国際規格）

	JIS	ISO
日本人	62.9%	37.1%
外国人	29.0%	71.0%

（ここでいう外国人とは，韓国，中国，台湾，シンガポール，アメリカ，イギリスの六つの国・地域の人のことである）

（経済産業省の資料により作成）

・原稿用紙の正しい使い方にしたがって書くこと。

・題名や氏名は書かないで、本文から書き始めること。

260　200　100

〈*Note*〉

二〇一九年度

大阪府公立高校入試問題（B問題）

一

解答

1、(1) ほこ(る)　(2) くわだ(てる)　(3) ほんやく　(4) ふんきゅう　(5) 源　(6) 備(え)　(7) 往来　(8) 専門　2、ウ　3、ア

解説

2、「藪から棒」は突然に物事を行うさま。

3、「先生」が動作の主体なので、尊敬語を用いるのが正しい。アのような「ご～する」は謙譲語。ただし、「利用する」の謙譲語は、「利用させていただく」となる。

二

解答

1、われわれが知っている生命とは地球の上の生命ただ一種類だけであり、それと同様のものが宇宙にも存在する（49字）（同意可）

2、エ　3、a、問題そのも　b、考えられる

解説

1、われわれの知っている生物学は「地球生物学」であり、「今われわれが知っている生命とは、地球の上の生命ただ一種類だけ」なので、その特徴をいくら調べても「それと同様のものが宇宙にも存在するという保証」にはならず、「『生命とは何か』などという普遍的な問い」には答えられないと述べている。

2、前に「『生命とは何か』などという普遍的な問いにはまだ答えられない」とあるので、「普遍的」と同じような意味の語を入れる。

3、a、「『問いの立て方』というのは重要です」とした上で、「ある問題が解けないとか、どうしたらいいのかわからない」ことについて、「多くは…から解けない」と理由を示している。b、「問いは具体的である必要があります」とした上で、「問う範囲をどんどん狭くして」いくことで「具体的」になり、答えやすくなると述べていることに着目する。

三

解答

1、ア　2、おきざれば　3、一月計在朔日　4、イ

解説

2、「レ点」は、一字戻って読む。
3、「朔日に立てざれば一月空し」と続いているので、「一月」の「計」は「朔日」に立てるべきだという意味の漢文を考える。前後にある、似た表現の「一日計在…」「一年計在…」という語句の並びに合わせて書く。
4、「一日」「一月」「一年」の計画は、その始まりにおいて立てるべきだとした上で、心に油断がおこると、「くゆること」や「わざわひ」がおこると述べている。

口語訳

ある人が白楽天の教えた三つの生活規範として語ったのは、
一日の計画は一番どりの鳴くころに立てるべきだ　そうでなければ日課が空しいものとなる
一月の計画はついたちに立てるべきだ　そうでなければ一月が空しいものとなる
一年の計画は陽春の頃に立てるべきだ　陽春の頃に耕さなければ秋に実ることもない
といったことばで、本当に人は気をゆるめることで、あれこれと後悔したり災難にあったりするものである。

四

解答

1、イ　2、カ　3、(1)過去形にす　(2)b、丁寧すぎる表現やタメ口になってしまうのならば、少し違和感のある表現でもマニュアル化した表現を使う（48字）（同意可）　c、適切な表現

解説

1、「よろしいでしょうか」は「直接的すぎる」というはづきの意見に対し、「確かに」と認めて、「現在形」であることや、「訊く側」の心理を補足したあと、「でも」と言って、「訊かれる側」の気持ちをあげて反対意見を述べている。

2、「過去形を使うと、本当に丁寧な言い方になるんですか」というペトリの問いに、過去形が「丁寧表現として受け取られている理由」を述べた上で、それは「過去形が丁寧を表すという確固たる理由」とは言えないと指摘し、ことばを「マニュアル化」することが問題だとして、「きつねうどんになります」という表現を取り上げている。

3、(1) ペトリが「ドリンクの方はよろしかったですか」という言い方を取り上げて疑問を示したことから、先生とはづきの議論が始まっていることをおさえる。(2) b、はづきは「丁寧な表現って…とっさにはなかなか出てきません」とした上で、「丁寧すぎる表現になってしまったり、逆にタメ口をきいてしまったり」するくらいなら「マニュアル化した、ちょっと違和感のある表現」の方が「ましなんじゃないでしょうか」と述べている。c、「違和感のある表現」を使っても仕方ないというはづきの意見に対して先生は、「適切な表現」を「考える」ことの必要性を訴えている。

五

解答

(例)

　ピクトグラムを案内に活用するためには、誰もが一目見てその意味を理解できるデザインでなければならない。資料では、日本人が慣れ親しんだＪＩＳの温泉マークは外国人に必ずしも分かりやすいわけではなく、より具体的に描かれたＩＳＯのマークの方が分かりやすいと思っている人が多いことが分かる。さらに、この温泉マークのように、一つの事柄を表すのに複数のピクトグラムが存在する

ことにも注意を払わなければいけない。外国人が日本国内だけで通用するマークを見て戸惑うかもしれないので、ピクトグラムを統一、整理しながら充実させる必要があると思う。

解説

資料では、日本人の多くはＪＩＳの温泉マークの方がわかりやすいと答え、逆に外国人の多くはＩＳＯの温泉マークがわかりやすいと思っていることを示している。